

「大阪ナイトカルチャー」事業

大阪商工会議所 地域振興部 ○課長 中野 亮一
主任 本 奈美
堤 陽一

1. 活動方針・目的

大阪に住み、働く人々や国内外からの訪問客が、「豊か」で「楽しく」、「安全」かつ「文化的」なナイトライフを過ごすことができる街・大阪を目指すとともに、新たな夜型市場の開拓と拡大を図る。

2. 活動内容

(1) 新たなライフスタイルの提案・普及

○レイトショーの推進

主要ホールや楽団等にレイトショーの実施を働きかけ、ホームページ (<http://www.osaka-nightculture.com/>) やメールマガジン(週1回約2,500件配信)、ブログ (<http://yaplog.jp/nightculture/>)、「大商ニュース」(大阪商工会議所広報誌・月2回45,000部発行)等で広報・集客に協力。これまでに大阪府下主要ホールでのレイトショー(午後7時半以降開演のコンサート、演劇等)が実現したほか、伝統芸能(文楽、歌舞伎、能)、スポーツ(野球、バスケットボール)など、様々な分野で開演時間繰り下げや、夜間割引チケットの販売などが実現した。

○レイトショーと飲食店等が連携した地域イベントの開催・推進

大阪城ホール、いずみホール、大阪倶楽部、カルチュラタン世界館、山本能楽堂、なんばグランド花月、御霊神社などで、来場者への周辺飲食店マップの作成・配布、レイトショーと周辺飲食店の食事をセットにしたプラン、レイトショーと周辺飲食店が出店する屋台を楽しむイベント、周辺店舗のレシート提示によるコンサート料金割引等の企画を提案・実施した。

(2) 多様性溢れる夜型エンターテインメント及び観光メニュー等の開発

○美術館、博物館など公共空間でのイベントの開発

国立国際美術館、大阪市立美術館、東洋陶磁美術館等を平日夜に特別開館し、美術鑑賞と館内でのコンサートや食事を組み合わせたイベントを開催。平日夜にゆったり美術鑑賞とコンサートを楽しみたい社会人に好評を博し、毎回すぐに完売する人気企画となっている。

○上方伝統芸能のエッセンスを紹介する夜型パフォーマンスの開発

観光客や社会人が伝統芸能を気軽に鑑賞できるよう、能、狂言、文楽、落語など様々な伝統芸能を一度に鑑賞できるイベントを平日夜に御霊神社や山本能楽堂で開催。伝統芸能とジャズや古楽を同時上演することで、伝統芸能に馴染みの薄い層の開拓に努めている。

○新たな夜型イベントの開発

野外映画祭やチャリティコンサート、能楽堂での年越しライブなど、新たな夜型イベントを積極的に企画・実施している。

(3) 夜間における都市機能強化及びインフラの整備促進

○大阪ナイトカルチャー・ミッドナイトチェックイン制度の普及等

滞在型観光促進策として、夜型観光メニュー参加者が大阪で宿泊しやすいように、ホテルが当日午後11時頃の空室を大幅割引で販売する制度を企画・推進。平成17年12月に大阪府下主要40ホテルで開始したところ新聞・TV等で大きく取り上げられて反響を呼び、平成18年4月から75ホテル、9月からは96ホテルと参加ホテルが拡大。平成18年7月末までに7,603人が5,903室を利用し、宿泊代のみで4,400万円にのぼる直接経済効果があった。

(4) 大阪ナイトカルチャー事業の普及・ブランド力向上

シンポジウム開催(新聞社と共催)や、広報誌等での本事業に対する各界著名人のインタビュー記事掲載、協賛事業(本事業の趣旨に賛同するレイトショーなど)のPRチラシ上へのキャラクターマーク掲載やホームページ相互リンク等を通じ、ブランド力向上と普及を図っている。

3. 今後の課題等

大阪市、(財)大阪観光コンベンション協会はじめ、他団体との連携による夜型観光メニューの開発・推進。観光客や社会人向けの伝統芸能を気軽に鑑賞できる公演の開発・定期公演化。公共空間を活用したコンサート等の定期公演化。公共交通機関の深夜運行促進など。



「大阪ナイトカルチャー」事業

大阪商工会議所 地域振興部
中野 亮一



『大阪ナイトカルチャー』事業 活動内容

1. 新たなライフスタイルの提案・普及

- (1) レイトショーの推進
- (2) レイトショーと飲食店等が連携した地域イベントの開催・推進

2. 多様性溢れる夜型エンターテインメント、 観光メニュー等の開発

- (1) 美術館、博物館など公共空間でのイベント開催
- (2) 上方伝統芸能のエッセンスを紹介する夜型パフォーマンスの開発
- (3) 新たな夜型イベントの開催

3. 夜間における都市機能強化、インフラの整備促進

- (1) 「大阪ナイトカルチャー・ミッドナイトチェックイン制度」の普及

4. 大阪ナイトカルチャー事業の普及・ブランド力向上

1. 新たなライフスタイルの提案・普及

(1)レイトショーの推進

(2)レイトショーと飲食店等が連携した地域イベントの開催・推進

主要ホールや楽団等に
開演時間の繰り下げを働きかけ、
コンサート、演劇、
伝統芸能(文楽、歌舞伎、能楽)
スポーツ(野球、バスケットボール)
など幅広い分野で
300件以上のレイトショー
(午後7時半以降の開演)や
深夜割引チケットの発売が実現!



新たな企画の提案・実施

- 来場者への周辺飲食店マップ配布
- レイトショーと食事をセットにしたプランの販売
- 周辺店舗のレシート提示によるコンサート料金の割引



2. 多様性溢れる夜型エンターテインメント、観光メニュー等の開発

(1)美術館・博物館など公共空間でのイベントの開催

- 平成17年3月 大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館
- 平成17年7月 大阪ナイトカルチャー@大阪倶楽部
- 平成17年9月 大阪ナイトカルチャー@大阪市立美術館
- 平成18年9月 大阪ナイトカルチャー@プラド美術館展
- 平成18年12月 夜の美術鑑賞&コンサート@東洋陶磁美術館



<プログラム(例)>

- 19:00 開場
- 19:15~20:15 学芸員によるガイドツアー
- 20:30~21:15 ミニコンサート

好評を博し、即日完売する人気イベントに!





2. 多様性溢れる夜型エンターテインメント、 観光メニュー等の開発

(2) 上方伝統芸能のエッセンスを紹介する夜型パフォーマンスの開発

平成17年12月 うつぼのひのひ

<落語、文楽、和太鼓、ジャズ>

平成18年12月 おとなの年越しライブ

<能、講談、落語、リュート、狂言>



<プログラム(例)>

21:00~ 能

22:00~ 講談

23:00~ 落語

23:30~ リュート

24:00~ 狂言

あわせて、周辺飲食店にて
○軽食(ジャズライブ付)
○特別ディナーを提供



2. 多様性溢れる夜型エンターテインメント、 観光メニュー等の開発

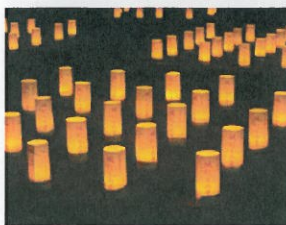


(3) 新たな夜型イベントの開催

平成17年7月

平成18年7月

大阪城にて
野外映画祭を実施
あわせて周辺を
ろうそく行灯やLEDで
ライトアップ



3. 夜間における都市機能強化、 インフラの整備促進



(1)「大阪ナイトカルチャー・ミッドナイトチェックイン制度」の普及等

平成17年12月～

第1期 40 ホテル



平成18年4月～

第2期 75 ホテル



平成18年9月～

第3期 96 ホテル

コンサートや演劇を
深夜まで楽しんだ後や
残業などで終電を逃したときは



当日午後11時頃以降に
「大阪ナイトカルチャー・
ミッドナイトチェックイン制度
利用」と伝えて予約すると



宿泊料金が
最大82%割引に！



4. 大阪ナイトカルチャー事業の普及、 ブランド力向上



●シンポジウム開催

H16. 6

<河合隼雄文化庁長官(当時)、落語家 桂三枝、
大平光代大阪市助役(当時)、野村明雄大商会頭>

H17. 10

<河合隼雄文化庁長官(当時)、人形浄瑠璃文楽大夫
竹本住大夫、日本テレマン協会代表 延原武春、
落語家 桂小米朝、MBSアナウンサー八木早希>

●各界著名人からのメッセージ

河合隼雄、大植英次、伊達公子、コロッケ、石井幹子、
ダニエル・アヴィオラ、山崎正和、三枝成彰、福原義春、
片岡孝太郎、リサ・ステッグマイヤー、石鍋裕、今井賢一、
片山右京、小倉和夫、白石隆、佐々木伸、デビッド・マクレラン、
蓑豊、竹本住大夫、吉井理人、岡昌治、佐藤友美子、梁石日、
ジェフ・バーグランド、有栖川有栖、西村由紀江、宮本亜門、
野村萬斎ほか

●ホームページ



<http://www.osaka-nightculture.com/>

●ブログ

ブログで大阪ナイトカルチャー

http://yaplog.jp/nightculture/



メールマガジン「大阪eナイトカルチャー」 週1回発行 購読者数2,700人
機関紙「大商ニュース」に記事掲載 月2回 45,000部発行

<http://yaplog.jp/nightculture/>